



株式会社 中島製作所

高い技術で多品種製造
お客さまのためのものづくり



細かいニーズにも対応

大正14年(1925年)に創業し、現在は半導体製造装置の金属部品加工を中心にしている中島製作所。その強みは、独自の管理システムによる多品種の製造と短納期の対応力です。

「半導体製造装置はお客さまからさまざまな仕様に関するご要望があります。特に部品の種類は何万点とあり、2~3個の小ロットの仕事が何千件と来るので、マンパワーでは納期の把握ができずにいた時期もありました」と中島社長。その改善のため、独自で生産管理システムを開発し、業務の見える化を図ったところ、納期の遅延がゼロになりました。確かな信頼を得たことで、取引先から高い評価を受けています。また、生産設備の一部は自社で製造し、その現場に合ったものを自分たちが使いやすいように設計・開発することで、生産性の向上につなげています。

積極的に新製品を開発

“下請けだけではなく、よりお客さまと近い距離でお仕事をし、付加価値が高いものを提案したい”という中島社長の熱い思いから、平成22年(2010年)に自社製品を作る製品開発部を立ち上げ、国内初のマイクロ波で食事を温め直す機械“ミールシャトル”を開発しました。これまで病院の入院食を温める機械は、温風での再加熱方式のため、ごはんは乾き、野菜の色は変色するなどの欠点がありました。そこで中島社長は“金属加工のノウハウで何かできないだろうか”と、佐賀大学にも相談し、何度も試行錯誤の上、ミールシャトルを製品化することに成功しました。ミールシャトルは病院や介護施設で利用され、その便利さが好評で県内では佐賀大学医学部附属病院に導入されています。平成30年(2018年)には経済産業省のものづくり日本大賞を受賞しました。

また、マイクロ波加熱の技術によって、発泡コンテナに入れたまま短時間で6食を温められる“HOT・PIT”などの新たな自社製品の開発にも余念がありません。今後、さらに自社製品事業を伸ばしていく中島製作所の挑戦は続きます。



代表取締役社長
なかしま ひろき
中島 弘喜

日本初のマイクロ波
再加熱カート
“ミールシャトル”



株式会社中島製作所

☎ 0952-97-1121

[所] 佐賀市蓮池町蓮池66

[創業] 大正14年(1925年)

[従業員] 109名

[HP] <https://www.nakashima-mec.co.jp/> 中島製作所 検索

ここがポイント!



金属加工の中でも、特に溶接加工の評価が高い中島製作所。技術が必要とされるステンレスの薄い板同士の溶接を得意としています。5年、10年と経験を積んだ職人たちが高い水準で行っており、お客さまから“仕上がりがきれい”と好評価を得ています。